

(様式1)

データ関連人材育成プログラム
申請の概要

1. 申請取組

代表機関名 総括責任者名	株式会社インテリジェンス 執行役員 岩田 亮
実施予定期間	平成 29 年度～平成 31 年度
実施予定所要 見込額	【所要見込額】 平成 29 年度：総額：90 百万円（うち自己負担額 45 百万円） 平成 30 年度：総額：150 百万円（うち自己負担額 80 百万円） 平成 31 年度：総額：200 百万円（うち自己負担額 200 百万円） 総 額：440 百万円（うち自己負担額 325 百万円）
目標・行動計 画の設定	■背景 2060 年には日本の労働人口が 1,170 万人減少すると予測（内閣府予測）されています。その中で、働き手の確保という観点では、IT 先端技術やビッグデータの利活用は、それに取り組みざるを得ない状況に直面しています。ICT の進化に伴い、2020 年には世界のデータ量は 44ZB（44 兆 GB）にも到達する見込みですが、データ関連人材は日本市場でも約 25 万人が不足しているといわれます。 ■コンソーシアムの中期目標 当コンソーシアムにおいてはデータ関連人材の人材不足解消を長期的なビジョンと定めています。そのために、データ関連人材として既に活躍している情報系学生だけではなく、その他領域の学生に対して、データ関連人材というキャリアの選択肢を増やすことで、産業構造転換の一助となることを目指します。 代表機関は、国内トップクラスの人材会社として新卒学生の就職支援、社会人の転職支援を行っています。その中でも、実践の経験がない、未経験の人材採用は採用企業からは好まれないことが課題の 1 つであり、それを打開していくことこそが、人材業界をリードしていく取り組みだと位置づけています。 そのために、当コンソーシアムでは、データ分析に対して未経験だった受講生に、圧倒的な実践の経験を積ませることで、新しいキャリアの道を見出すことを支援して参ります。

(代表機関名：株式会社インテリジェンス)

目標・行動計画の設定

■実施期間目標

具体的に実施3年間における数値目標は以下の通りとなります。

- ・本取組に応募、または説明会に参加し、データ関連人材への興味喚起された候補者数 1,000名
- ・本受講プログラムにて実際に参加した候補者数 150名
- ・育成・実践の場を提供いただける法人企業 20社

■行動計画

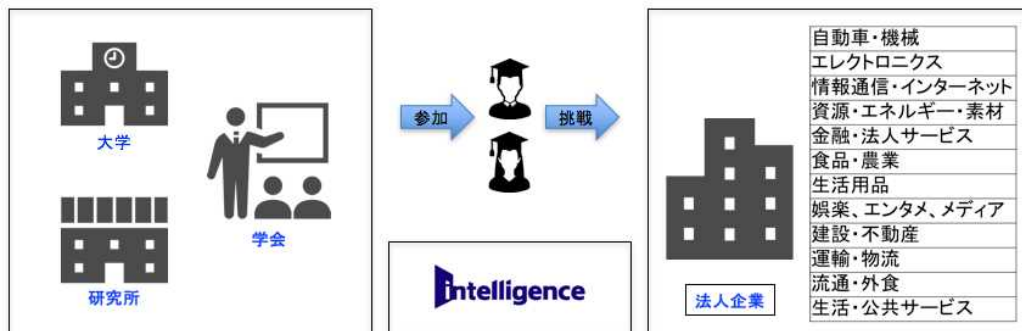
代表機関が中心となり、以下の行動計画を進めてまいります。

① コンソーシアムの構築

- ・新卒学生の就職支援している代表機関の実績を活かし、博士課程、ポスドク人材の転身を推進していきたい大学・研究機関・学会を参画機関とします
- ・代表機関のグループの法人顧客網を活用し、育成・実践の場を提供していただける法人企業に、連携機関としての役割を担っていただきます
- ・グローバルネットワークを活用し、シリコンバレーにおける最先端の教育ノウハウを取り入れてまいります

② コンソーシアムの運用

- ・代表機関・参画機関とは毎月の定例会議を実施することで、コンソーシアムで一体となった運営を行います
- ・同会議において研修等の活動内容の報告し、カリキュラム内容のスピーディな改善を図ってまいります



- 参画機関(大学・研究所・学会):発掘
 - ・キャリアセンターを中心とした教授との連携
 - ・学生、ポスドクへの告知、説明会の協力

- 代表機関(人材企業):育成
 - ・研修プログラムの開発
 - ・キャリア形成の実施

- 連携機関(法人企業):活躍促進
 - ・インターン、採用

運営協議会
コンソーシアムの管理・運営

図1. コンソーシアムの実施体制と各機関の役割分担

(代表機関名：株式会社インテリジェンス)

取組の概要	<p>■取組の方針 受講者として、理工系の学生だけではなく、経済・経営学部等において定量的研究を行っており、数値・データに抵抗が少ない方も対象としています。データサイエンススキルだけにとどまらず、ビジネススキル、エンジニアリングスキル、も有し、事業発展に貢献できる人材を輩出します。 また、当コンソーシアムでは、博士人材等の方にとって就職のハードルが高いという現状の課題に沿ったプログラムを目指します。加えて、代表機関は10,000社以上の法人企業との接点を有しており、法人企業の採用ニーズを十分反映するように受講プログラムの継続的な改善を行います。これらを産官学の強力な連携のもと推進します。</p> <p>■内容 本コンソーシアムでの取組として以下内容の受講プログラムを受講者に対して提供します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① オンライン学習サービスによる事前予習 <ul style="list-style-type: none"> ・既存のオンライン学習サービスの受講支援をおこないます ・オンライン学習により、受講者が各自のスピードで学習し、教育にかかる費用も低く抑えます ② 短期集中のスクール型カリキュラム <ul style="list-style-type: none"> ・当社独自開発のカリキュラムを活用し、1～2週間の短期間にて一通りの必要な知識をインプットします ・連携機関のビジネス戦略ケーススタディを学ぶことで、事業に生きるデータ分析手法を身に着けます ③ 連携機関（法人企業）へのインターン参加による実践経験 <ul style="list-style-type: none"> ・短期（数日）または長期（3～6ヶ月）にて、法人企業にインターン参加します ・同経験にて、実際の事業にて利活用できる経験を身に着けます ④ PBLの場として各種ハッカソン・コンテストへの積極参加 <ul style="list-style-type: none"> ・インターンと並行して複数のハッカソン・コンテストに参加いただきます ・複数参加することで、課題設定の仕方、多様な分析手法を経験します ・ハッカソン・コンテストの参加前には、参加にあたっての戦略立案、参加後にはその振り返りを行っていただきます ⑤ 継続的な学びのサポート <ul style="list-style-type: none"> ・代表機関が提供する、テクノロジー人材向けの勉強・イベント情報サイト dots. (https://eventdots.jp/) に登録いただきます ・その中で、データ関連人材にとって有益な情報を積極的に情報発信し、継続的に学び続けることを支援します ⑥ キャリア形成のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・データ関連人材として次のキャリアへ転身いただくためのカウンセリング、求人紹介等の支援をおこないます <p>■注意</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本申請が採択されなかった場合も、予算計画を再考した上で目標値等を調整し、コンソーシアムは継続実施します。 ② 本プログラムの受講を希望する学生には、これまでのデータ活用実績等を申請して頂き、選抜を経て採択された学生だけが、受講できます。
コンソーシアム参画機関 (予定)	代表機関：株式会社インテリジェンス

(代表機関名：株式会社インテリジェンス)

2. 連絡先等

代表機関の 総括責任者	ふりがな 氏名	いわた あきら 岩田 亮			
	所属機関名	株式会社インテリジェンス			
	役職名	執行役員			
代表機関の 実施責任者	ふりがな 氏名	かたおか ひでお 片岡 秀夫			
	役職名	ゼネラルマネジャー			
代表機関全 体の事務連 絡担当者 <small>(当該担当者に審査結果等 すべての連絡をいたします)</small>	ふりがな 担当者名	いがらし やすのぶ 五十嵐 康伸	役職名	エキスパート	
	所属組織・部署名	イノベーションラボ アライアンスサービス開発部			
	事 務 連 絡 先 <small>(当該担当者に審査結果等 すべての連絡をいたします)</small>	〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 8F			
		TEL. 03-6385-0880		FAX.	
		E-mail: yasunobu.igarashi@inte.co.jp			

(申請機関名：株式会社インテリジェンス)